

## 2014-2015 競技規則 主要変更点のまとめ

### 1. 章立ての変更

#### 第1部 総則

アーチェリー競技の概要(概ね従来どおり)

主に主催者側が注意すべき点を中心に記載

① 「記録の管理」「スターバッジ」について追記

② 主に運営側が注意すべき規則「競技場の設営」「行射の安全と管理」は旧第2部～第4部から移動

③ 主に競技者が注意すべき規則「服装規定」は第2部・第3部へ移動

#### 第2部 ターゲットアーチェリー

旧競技規則のアウトドアラウンドとインドアラウンドを合体

パラアーチェリーについて追記

#### 第3部 フィールドおよび3D アーチェリー

3Dアーチェリーについて追記

#### 第4部 その他のアーチェリーラウンドとスキーアーチェリー

#### 第5部 付則

### 2. 文言の変更・統一

ディレクターオブシューティング(DOS) → DOS

FITAラウンド → 1440ラウンド

決勝ラウンドの1回戦～4回戦 → イリミネーションラウンド

決勝ラウンドの準々決勝戦～決勝戦 → ファイナルラウンド

### 3. 競技規則内容変更

(1) オリンピックラウンド団体戦(リカーブ部門) セット制へ移行

(2) インドアマッチラウンド(コンパウンド部門) 合計得点制へ移行

※ ターゲットアーチェリーでは、リカーブ部門は個人・団体ともセット制、  
コンパウンド部門は個人・団体とも合計得点制。

(3) 時間外発射のレッドカードの取扱い

「この違反は、審判員がレッドカードを挙げることで通告する」



「この違反は、審判員が通告する」

(4) ターゲットアーチェリーの弓具故障・予期せぬ医学的問題の対応  
修理時間(回復時間)を最大 15 分



補充矢の行射時間を最大 15 分

(5) フィールド世界選手権ラウンド

ファイナルラウンドの制限時間 3分 → 2分

(6) フィールドアーチェリーの同点の順位の決定

i 5+6 点の数の最も多いもの → 6 点の数の最も多いもの

ii 6 点の数の最も多いもの → 5 点の数の最も多いもの